

Y M C A 国際ビジネス専門学校

2021年度
学校自己評価報告書

学校法人横浜Y M C A
Y M C A 国際ビジネス専門学校

基準日：2022年3月31日

作成日：2022年5月

項目別の自己評価表 (YMCA 国際ビジネス専門学校) 2021 年度

- ※ 以下は例示に過ぎないものであり、各学校の教育目標・重点目標等を達成するために必要な項目・指標等を設定することが重要。
- ※ また、1(不適切)～4(適切)の評価のみでなく、課題を確認し、今後の改善方策については次年度以降の取組への活用を具体的に記述することが望まれる。また、特記事項についても、自校の特色となるような取組について記載することが望まれる。

1. 学校の教育目標

YMCA 国際ビジネス専門学校は、横浜 YMCA カレッジグループを構成する学校として「横浜 YMCA - 私たちの使命」に基づき、人間性が尊ばれ、公正で平和な世界の実現を目指して社会に貢献する人材を育成したいと考えています。そのために次のことを大切にしていきます。

・自己学習能力を身につけた人材を養成します

私たちは、体験や学習を通じて生きる力を学び取っていきます。本校においては、知的な情報収集にとどまることなく、実習、演習、学校行事など体験から学ぶことを大切にしています。学校の学びは、あくまでも基本です。常に変動していく社会の中で、変化の方向を読み取り、今ここで何をすべきかを見極めるのは各自の判断に委ねられています。そのためにも常に学ぶ姿勢を忘れずに向上心、研究心を持って謙虚に学ぶことで、自らの学習能力を高めていきます。

・人間関係を豊かにする力を身につけます

人は、複数の人間との関係の中ではじめて人となり、互いに信頼し、信頼される関わりを通して、相互に成長していきます。行動のスタイルや、生活課題の解決手段などもすべて人間関係の中で学び取っていきます。現代社会は、現実感覚の喪失が心配されるような問題が多く発生し、その背景として、本当の人間的交わりを体験する機会が少なくなっています。実習やボランティア活動を通して、コミュニケーション能力を高め、学校行事の運営やクラスの活動などあらゆる機会を通して人間関係をつくりあげる能力を身につけます。

・サービス提供者にふさわしい社会的な行動様式を身につけます

社会では、ルールやマナーが要求されています。サービス提供者として、常に相手の立場に立ってものごとを考え、どう行動したらよいのか判断できる力を養います。実習先では実習生として学びますが、利用者から見れば働き手の一員です。サービス提供者にふさわしい社会的な行動様式は、日常的な取り組みによって、はじめて身につきます。あいさつを励行し、時間や提出期限の厳守をするなど、日頃から意識的に望ましい行動様式を実践し、身につけます

・ **リーダーシップを持った人材養成を目指します**

リーダーシップとは、集団に対して、作用を及ぼす力、指導力、統率力を指します。最近では、多様なニーズを持った利用者や専門職の人々への円滑な連絡調整能力を持った人材が求められています。野外活動をはじめとして、各種学校行事は、学生が主体となって運営をしていきます。その他委員会活動等も、リーダーシップ、コーディネータートレーニングの良い機会です。学生同士の直接的な関わりを通して、積極的に自分の意見を述べ、時には注意し合い、支え合いながらリーダーシップを高めていきましょう。

・ **ボランティア精神を理解し、積極的に参加します**

ボランティア活動を通して「共に生きる」ことの喜びと難しさを体験することを大切にしています。

私たちは、これまで「家庭」と「学校」を軸に生活してきましたが、そこに「地域」が加わることにより、さらに自己成長の可能性が広がります。

・ **専門性＋人間性の高い人材を養成します**

専門士として必要な実践力を身につけていきます。知識と実践力を養うことを目的としますが、専門科目のほかにも平和学やレクリエーション、野外活動などを取り入れ、相手の立場で物事を考え、チームとして成し遂げることを体感していく教育を行います。また知識を高めるために、各学科の必修科目以外にホスピタリティの科目や一般教養科目も取り入れています。

人間関係学を深く学ぶため、平和学の授業を通年科目にしています。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

安定した運営状況を目指し、新入生の定員確保を目標とします。

学生募集にあたっては、これまでの広報費用をあげることなく各種媒体業者との交渉を行い、高校生及び対象者への周知方法を継続します。学校の告知方法として、現在では一番有効となる Web での情報公開だけでなく、SNS を利用した双方向のコミュニケーションを可能とした手法を取り入れて、希望者に対して有効な情報を提供できるように、そして丁寧な対応ができるように工夫します。

基礎力をあげるために、「表現」の授業も取り入れています。主に国語力（日本語力・表現力）を高めるために設置しているカリキュラムで、実習には必須の実習日誌の作成に必要な基礎も文章力をつけていきます

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野における職業教育の特色は何か)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

①課題

2年間で専門士としてふさわしい人材を育成することを目指し、各関係業界や教育機関へ学校の理念や目標を伝えていく努力を継続して行います。

②今後の改善方策

関係省庁が求める学校・教育機関としてふさわしい学校となるため、教職員と業界や教育等の情報を共有し、学校情報の発信方法や育成等を行っていきます。

③特記事項

特になし

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1

・人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
・教務、財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1
・受け入れる学生の言語対応体制が整えられているか	④	3	2	1
・出入国在留管理局が認めた申請取次者を配置しているか	④	3	2	1
・日本語教育機関の運営に関する基準で定められる要件の整えた校長、教員が配置されているか	④	3	2	1

①課題

まだ十分な情報システムが浸透しておらず、効率化が図られていない事があります。カレッジグループでシステム化されている内容を有効活用し、整備できるよう整えます。また、業界や地域等のネットワーク作りが浅いため、十分な活動がされておられません。

②今後の改善方策

引き続き業界や地域社会とネットワーク作りを力を入れ、学校運営に反映させていきます。そして、必要な人材育成を行ってまいります。

③特記事項

特になし。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 ③ 2 1

・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1
・入学時にオリエンテーションを行い、学習時間や学歴のほか、入管法に関する事項等を学生に配布しているか	④	3	2	1

①課題

カリキュラム等は外部より意見をいただき毎年検討して作成しております。また、インターンシップ先と業務提携や授業協力等、今後も外部や関係機関との連携を図ってまいります。

教職員及び教員は、必要と思われる研修や勉強会への参加を促し、常に学生への必要な情報やキャリア教育が実現できるよう発信を行ってまいります。

②今後の改善方策

業界が求めている人材やスキルを、関係機関や企業への情報交流を行い、時代に沿った人材育成を行えるよう進めて参ります。

③特記事項

特になし。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1
・日本留学試験、日本語能力試験等の試験結果を把握しているか	④ 3 2 1

①課題

今年度就職率は良いですが、学生が希望する企業へ就労できるよう、早期に自己分析や個別支援等を強化する必要があります。また、留学生は就職や進学に必要とされる試験やスコアアップのための対応策が必要です。そのことにより、学生が希望する進学へ進学する事ができます。

②今後の改善方策

学生との個別面談で必要な支援を早期に提示し、退学者を減少させていくようにいたします。また連絡人や保護者等と連携をして、丁寧に学生対応をまいります。

③特記事項

特になし。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者（連絡人）と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1
・日本での生活指導（在留及び住居）等の支援体制が整えられているか	④	3	2	1
・在留に関する情報を正確に把握し、問題ある学生への個別指導を行っているか	④	3	2	1

・休日や長期休暇の対応ができているか	④	3	2	1
--------------------	---	---	---	---

①課題

卒業生が出たばかりのため、どのような支援が可能なの学内でも検討中ではありませんが、卒業生の学び直し講座や在校生との交流により、進路支援が可能になると考えます。留学生には、長期休暇前のオリエンテーション等で説明を行い、支援や指導を行っておりますが、十分理解できていない場合もありますので、徹底してまいります。

②今後の改善方策

就職した卒業生へ現在の課題や問題などをヒアリングして、在校生へのキャリア支援とすることや、課題を抱える卒業生への学び直しの機会を設けます。

③特記事項

特になし。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

①課題

パソコンを使用する授業が多くなったことによるWIFI環境の整備や備品整備が必要となりました。それに伴う教職員や教員の知識向上の必要であります。回線や台数等の検討が必要と考えます。

②今後の改善方策

カリキュラム内容等を検討しつつ、整備・設置する必要があるれば検討してまいります。

③特記事項

学生推移により、現在の環境で可能か否かの検証が必須です。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・募集資格及び条件を入学希望者の理解できる言語で明記しているか	④ 3 2 1
・海外の募集代理人等の行う募集活動を適切に把握し、現地の法令を遵守した募集活動を行っているか	④ 3 2 1

①課題

グローバル化に伴い、多方面からの入学希望者が増えています。奨学金や支援制度を適宜見直し、募集広報に結び付けてまいります。また留学生には彼らが理解できる言語で明記し、適宜内容や情報を確認してまいります。

②今後の改善方策

募集対象者がわかりやすい広報内容であるよう、常に入学要項等の改善に努めます。また学校訪問、現地訪問等では必要な情報を提供し、学校関係者や学生からの意見を反映させる募集内容を心がけてまいります。

国・地域によっては訪問が難しいこともあり、代理人を的確に把握し募集活動を確認いたします。

③特記事項

特になし。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1
・出入国在留管理及び難民認定法令及び各種関係法令等を理解し、適切に守り運営がなされているか	④	3	2	1
・不法残留や資格外活動違反等を発生させないための取り組みを定期的に行っているか	④	3	2	1

・ 出入国在留管理局、関係官庁等への届出や報告を延滞なく行っているか	④	3	2	1
------------------------------------	---	---	---	---

①課題

新しい学校として、より多くの意見や関係作りが必要です。

また、関係省庁のホームページや担当者から情報を受け取り、最新情報をもとに学生対応や学校運営等を実施いたします。

②今後の改善方策

学校関係者や企業関係者の方々と連携をとり、より良い教育環境を築き上げていきます。

③特記事項

特になし。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	②	1
・ 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
・ 地域とのかかわりを持てる活動を提供しているか	4	③	2	1
・ 留学生の受け入れ、派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	④	3	2	1

①課題

川崎市や多摩区のかかわりが十分にできておりません。学内でのボランティア活動は委員会や行事を通して実施しております。視野を広げ、幅広い人たちとの関係作りにかいたします。

②今後の改善方策

地域や関係機関との協力を得て、グローバル化に向けた協力体制を構築いたします。

③特記事項

特になし。